



高速しが

令和8年
(2026)
5月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会：滋賀県高速道路交通警察隊

行楽期の交通事故防止

楽しい家族旅行も、ちょっとした油断が悲惨な事故を招きます。
次のような『重大事故』に直結する3つの行為はやめましょう。

車間距離不保持

十分に車間距離をとらないで走行していると、前車が急停止した時は、素早く反応して急ブレーキをかけたとしても安全に停止することはできません。重大事故を招く非常に危険な行為であることを認識しましょう。



携帯電話機等の使用

走行中、携帯電話機等での通話やメール操作等は、的確なハンドル操作が出来ないばかりか注意力が散漫となり、前車の動きに対応できないまま事故を起こしてしまいます。

携帯電話機等は最寄りのPA、SAに車を駐車後使用してください。



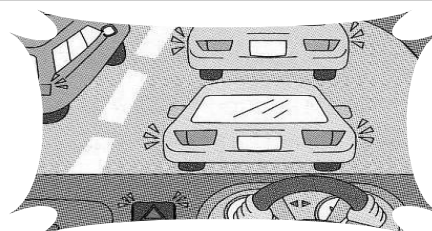
速度超過

速度が速ければ速いほど身に迫る危険は倍増します。特に雨の降り始めや降雨時などには、通常の動作であってもスリップし操作不能となって事故を招いてしまいます。

追突事故防止のポイント

ハザードランプの活用

渋滞が発生し、速度が落ちたら必ずハザードランプを点灯してください。前方に渋滞を発見したにも関わらず、漫然と減速・停止することは後続車に前方の危険な状況を伝えることができず重大な交通事故につながります。



タイヤ（空気圧）の点検を忘れずに！！

脇見運転は危険！

運転中の携帯電話機使用やカーナビの操作などの脇見運転は、咄嗟の判断がつかず大事故につながる可能性があります。

走行中はもとより、渋滞中に「少くらい大丈夫だろう」と画面を注視してしまい前方不注意で追突事故を起こすこともあります。

加害者にも被害者にもならないように脇見運転はやめましょう。



高齢ドライバーが交通事故を起こさないために...

★積極的に安全運転講習会や運転適正検査を受けましょう。

年齢を重ねるとともに安全運転に必要な判断力や記憶力などの機能が確実に低下していきます。講習会や適性検査を積極的に受けて自らの運転能力や心身機能の低下を自覚して余裕のある運転に心がけましょう。

★運転に自信が持てなくなったら「免許返納」も考えましょう。

本人の申請で免許を返納することができます。

免許を返納した人は、申請により「運転経歴証明書」が交付され公的な身分証明書として生涯使用できます。

★家族や周囲の方からの目配り、気配りをお願いします。

高齢者の方が車で外出される際は、行き先を聞きできるだけ同乗するようにしましょう。体調が優れなかったり、認知症を発症しているおそれある場合は運転するのをやめるように促してください。

『 Let's break! 』

気持ちのリセット！高速乗ったらコマメな休憩を！

👉 これだけは守って！

- ・少しでも「疲れた」「眠たい」と感じたら、早めにPA、SAで休憩を取って下さい！
- ・疲れなどを感じていなくても長時間にわたり運転すれば、注意力が散漫となり、脇見や考え事をするなど漫然運転に繋がるので、コマメな休憩を取り「ひと息入れて」安全運転に努めて下さい！

